

# 令和4年度県学力定着状況確認問題結果について【概要版】

山口県教育庁義務教育課

令和4年11月

## 1 実施概要

### (1) 目的

児童生徒の客観的な学力状況の経年的な把握と分析を通して、課題解決に向けた指導の工夫改善等の取組の充実を図る全県的な検証改善サイクルを確立し、県内全ての児童生徒の学力の確実な定着と向上を図る。さらに、C B Tで実施することにより、児童生徒の発達段階に応じた情報活用能力、デジタル読解力等の資質・能力の育成を図る。

### (2) 実施期日

令和4年10月17日（月）から10月21日（金）小学6年、中学2年

令和4年10月24日（月）から10月28日（金）小学5年、中学1年

※ 学校の実情に応じて期間内で実施し、一日の実施教科数、実施教科の順序等は各学校が定めた。

### (3) 実施対象及び実施内容

#### ①小学校

学 年	実施人数	内容（時間）
第5学年	10,086人	国語、算数(各40分)及び質問紙
第6学年	10,627人	国語、算数(各40分)及び質問紙

#### ②中学校

学 年	実施人数	内容（時間）
第1学年	9,722人	国語、数学(各45分)及び質問紙
第2学年	9,691人	国語、数学、英語(各45分)及び質問紙

## 2 教科の問題に関する結果

### (1) 平均正答率

#### ①小学校

	国 語	算 数
第5学年	73.2%	53.8%
第6学年	63.8%	55.8%

#### ②中学校

	国 語	数 学	英 語
第1学年	62.2%	60.4%	
第2学年	68.9%	57.6%	53.7%

(2) 教科の問題結果から見られる特徴

- ◇ 基礎的・基本的な内容を問う問題については、一定程度、成果や改善傾向が見られる。
- ◆ 基礎的・基本的な内容を活用して具体的な場面について考察する問題に課題が見られる。
- ◆ 記述式の問題に依然として課題が見られる。

		主な成果	主な課題
小学校	国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇文章を読んで理解したことに基づき、自分の考えをまとめること</li> <li>◇接続する語句の役割について理解すること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆筋の通った文章になるように、文章全体の構成を考えること</li> <li>◆文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること</li> <li>◆自分の立場や意図を明確にし、メモをもとに自分の考えをまとめること</li> </ul>
	算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇折れ線グラフのめもりを正しく読むこと</li> <li>◇分数の除法の計算をすること</li> <li>◇(2桁) × (1桁) の計算をすること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆整数÷小数の計算をし、あまりを正しく求めること</li> <li>◆複合型のグラフから必要な情報を読み取り、問題解決に生かすこと</li> <li>◆比較量と基準量を使って、割合を求める式を立てること</li> <li>◆台形の面積の公式を導くこと</li> <li>◆異種の二つの量の割合の求め方を理解すること</li> </ul>
中学校	国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇叙述を基に、物語の全体像や人物像を捉えること</li> <li>◇資料を効果的に活用して説明すること</li> <li>◇目的に応じて、言葉と言葉との関係を整理すること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆四字熟語を理解すること</li> <li>◆文節同士の関係や修飾語・被修飾語を理解すること</li> <li>◆読んで考えたことや資料を基に考えたことを表現すること</li> <li>◆聞き手の興味・関心などを考慮して、話し方を工夫すること</li> </ul>
	数学	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇分数の除法の計算をすること</li> <li>◇直方体の体積を求めること</li> <li>◇二元一次方程式の解の意味を理解すること</li> <li>◇平行移動の特徴を理解すること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆正の数と負の数の意味を、実生活の場面に結び付けて理解すること</li> <li>◆平均を求める方法を式で表現すること</li> <li>◆基準量と比較量を基に割合を求めること</li> <li>◆事象と式の対応を的確に捉え、文字式の成り立ちを説明すること</li> <li>◆投影図から図形の表面積を求めること</li> <li>◆ヒストグラムを使って、理由を説明すること</li> </ul>
	英語	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇まとまりのある英語を聞いて、話の要点を聞き取ること</li> <li>◇表や資料に示された内容を読んで、必要な情報を読み取ること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆聞いて把握した内容について、適切に応じること</li> <li>◆文脈に合うように、内容を考えて、基本的な文法事項を活用し英文を書くこと</li> <li>◆社会的な話題に関するまとまりのある英語を読んで、話の要点を読み取ること</li> <li>◆日常的な話題に関するまとまりのある英語を読んで、把握した内容についての質問に対して、適切に応じること</li> </ul>

### (3) 特徴的な問題例

#### ①小学校国語

##### ◇成果や改善傾向の見られた問題

【問題例】国語 小学校6年 1 四

文章を読んで理解したことに基づき、自分の考えをまとめること

正答率 87.9%

- (4) 森田さんは、お昼の校内放送で、【森田さんのメモ】をもとに、全校児童に、和食のよさと、それを食べられる給食のよさを伝えようと考えています。そのまとめとして全校児童に呼びかける最も適切な文を、次の中から一つを選びましょう。

- 給食を食べるときには、食文化について知り、食材の味や季節を感じながら食べましょう。
- 給食を食べるときには、日本だけではなく、世界の文化についても考えましょう。
- 給食を食べるときには、健康を守ることが大切だから、まず手洗いをしっかりしましょう。
- 給食を食べるときには、ユネスコ無形文化遺産のことを思い出して、知識を広げていきましょう。

【正答】ア

##### ◆課題の見られた問題

【問題例】国語 小学校5年 2 五

自分の立場や意図を明確にし、メモをもとに自分の考えをまとめること

正答率 41.4%

- (5) 田中さんは、次の話し合いに向けて、木下さんの<メモ>をもとに、サツマイモか白オクラのどちらかを選び、自分の考えを書くことにしました。あなたが田中さんなら、どのように書きますか。その内容を次の条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉

- サツマイモか白オクラのどちらかを選び、<メモ>にある問題点についての解決方法を考えて書くこと。
- 解決方法は、自分たちでできることを考えて書くこと。
- 書き出しの言葉に続けて、30字以上、50字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は、字数にふくまない。  
※下にある、サツマイモか白オクラのどちらかのオレンジの枠を選んで書きましょう。  
※入力した文字数は解答らんの下に表示されます。  
※右メニューの「解答」部分が「済」に変わらず「未」のままとなりますが、そのまま答えてください。

(正答例) (サツマイモをさいばいするのがよいと思います。草ぬきなどの世話が大変という問題については、) 草ぬきをする日や時間を決めたり、当番で順番したりすればよいと思います。(35字)  
(白オクラをさいばいするのがよいと思います。さいばいがむずかしいという問題については、) 農家の方に教えてもらったり、インターネットで調べたりするとよいと思います。(37字)

【解答類型】誤答 (54.5%) 無答 (4.1%)

【問題例】国語 小学校6年 2 五

文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること

正答率 30.7%

- (5) 松本さんは、【コメントの一部②】をもとに、自分の文章のよさをふり返り、書くことにしました。あなたが松本さんなら、どのようなよさを書きますか。次の条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉

- 【意見文2】のよさを書くこと。
- 【意見文1】から【意見文2】に書き直した部分を取り上げて書くこと。
- 書き出しの言葉に続けて、50字以上、80字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は字数にふくまない。  
※入力した文字数は解答らんの下に表示されます。

(正答例) (わたしの文章のよさは、) タブレットを使うよさを伝えるために、自分の経験をもとに具体的に書いたり、自分とは異なる状況の人にとってのよさについても書いたりしたところです。  
(71字)

【解答類型】誤答 (62.5%) 無答 (6.8%)

②小学校算数

◇成果や改善傾向の見られた問題

【問題例】算数 小学校6年 1 (4)  
 分数の除法の計算をすること

正答率 80.7%

(4)  $\frac{15}{28} \div \frac{21}{20}$

【正答】 イ  $\frac{25}{49}$

【誤答類型】 ア  $\frac{9}{16}$  (11.2%)

◆課題の見られた問題

整数÷小数の計算をし、あまりを正しく求めること

【問題例】算数 小学校5年 1(2) 正答率 25.8% 小学校6年 1(2) 正答率 30.6%

(2)  $75 \div 3.7$  (商は整数で求め、あまりも出しましょう。)

【正答】 20あまり1

【誤答類型】

5年… 2あまり1 (35.4%)    20あまり10 (22.3%)    2あまり10 (16.0%)  
 6年… 20あまり10 (31.5%)    2あまり1 (21.8%)    2あまり10 (15.9%)

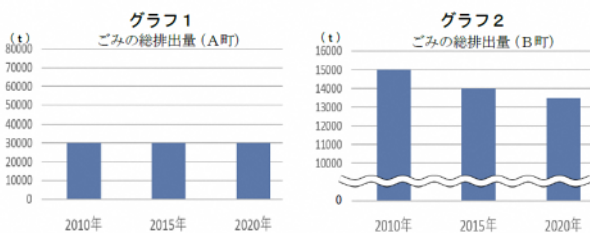
【問題例】算数 小学校6年 5(2)

異種の二つの量の割合の求め方を理解すること

正答率 23.3%

5 次の問題に答えましょう。

社会科の時間で、ごみの問題について学習したふみかさんと、ひなさんは、自分たちの住んでいるA町と、となりのB町のごみの量について調べました。あとの(1)から(3)の問題に答えましょう。



ふみかさん

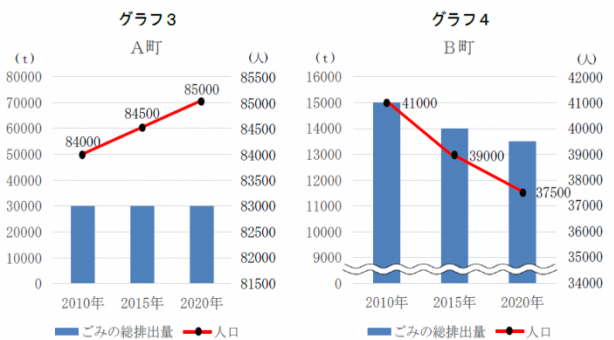
わたしたちの住んでいるA町のごみの総量はなかなか減らないみたいだね。

でも、最近、A町にはたくさんの住宅地ができ、住んでいる人が増えていると聞いたよ。人口も調べてみると、一人ひとりが出しているごみの量について分かるのではないかな。



ひなさん

人口について気になったふみかさんたちは、グラフ1、グラフ2に人口の折れ線グラフを加えたグラフ3、グラフ4について調べてみました。



(2) 2020年の1年間で、A町において1人あたりが出したごみの量を求めるための式を完成させます。□にあてはまる数を答えましょう。

□ ÷ □

【正答】  $30000 \div 85000$

【誤答類型】

85000, 30000 (24.2%)    85000, 83000 (9.3%)

③中学校国語

◇成果や改善傾向の見られた問題

【問題例】国語 中学校2年 1 4 1 5

表現や描写の工夫を捉えること

正答率 78.7%

4 Bの野菜は何ですか。最も適切なものを、次のアからエまでの中から一つ選びなさい。  
ア にんじん      イ ごぼう      ウ さつまいも      エ だいこん

【正答】 エ

物語の全体像を捉えること

正答率 83.5%

5 【文学的文章の一部】のとうもろこしとBの野菜の共通点は何ですか。最も適切なものを、次のアからエまでの中から一つ選びなさい。  
ア 自分が理想としているような成長ができず、悩みを抱えている。  
イ 自分を育てている主人の妻に対して、いくつもの不満を抱えている。  
ウ 自分のいる環境に合わせて、うまく成長できて満足している。  
エ ほかの野菜と協力して、ともに成長したいと心から願っている。

【正答】 ア

◆課題の見られた問題

【問題例】国語 中学校1年 2 2

四字熟語について理解すること

正答率 14.2%

2 次の( )に入る数字を【数字】から選び、四字熟語を完成させなさい。また、完成した四字熟語の意味を、【意味】のアからエまでの中から一つ選びなさい。(完答)

( )日( )秋

【数字】一 二 三 十 百 千 万

【意味】ア 計画や予想が全てあたること  
イ 人によって好みや考え方がちがうこと  
ウ 二つのうちの一つを選ぶこと  
エ 待ちわびて時間が長く感じること

【正答】 (一)日(千)秋 エ

【問題例】国語 中学校2年 3 3

聞き手の興味・関心などを考慮して、話し方を工夫すること

正答率 32.0%

3 【熟議の内容】の和田さんの説明の仕方として、最も適切なものを、次のアからエまでの中から全て選びなさい。

ア 呼びかけや問いかけなどを取り入れながら説明している。  
イ これまでの取組の成果を根拠にあげながら説明している。  
ウ 取組の具体的な方法についてたずねながら説明している。  
エ 取り組みたいことの原因をあげながら説明している。

【正答】 ア エ

【解答類型】アのみ(18.0%) イのみ(4.7%) ウのみ(6.6%) エのみ(21.4%)

④中学校数学

◇成果や改善傾向の見られた問題

【問題例】数学 中学校2年 3 (2)

二元一次方程式の解の意味を理解すること

正答率 76.3%

(2) 二元一次方程式  $x + y = 6$  の解について、次のア～エの中から正しいものを1つ選び、記号で答えなさい。

ア  $x + y = 6$  の解は、 $(1, 5)$  の1組だけである

イ  $x + y = 6$  の解は、 $(1, 5)$  ともう1組ある

ウ  $x + y = 6$  の解は、無数にある

エ  $x + y = 6$  の解は、存在しない

【正答】 ウ

【誤答類型】 イ (14.0%)

〔類題〕平成29年全国学力・学習状況調査 数学 中学校3年 3 (3)

二元一次方程式の解の意味を理解すること 正答率 60.2%

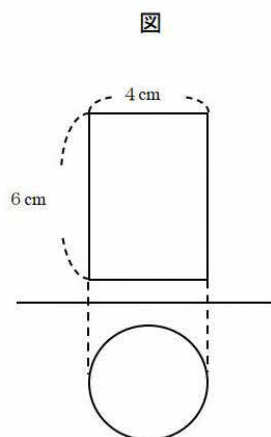
◆課題の見られた問題

【問題例】数学 中学校2年 5 (2)

投影図から図形の表面積を求めること

正答率 17.4%

(2) 次の図は、円柱を投影図に表したものである。この円柱の表面積を求めなさい。



【正答】  $32\pi$  (cm<sup>2</sup>)

【誤答類型】  $24\pi$  (20.1%)、  $28\pi$  (7.6%)、 24 (4.1%)

〔参考〕平成30年全国学力・学習状況調査 数学 中学校3年 5 (3)

見取図、投影図から空間図形(円柱)を読み取ること 正答率 84.0%

⑤中学校英語

◇成果や改善傾向の見られた問題

【問題例】英語 中学校2年 3 (1)

まとまりのある英語を聞いて、話の要点を聞き取ること

正答率 89.5%

3 (1) レベッカ (Rebecca) とジェイク (Jake) が話をしています。話している内容として最も適切なものを、ア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。

【放送原稿】

R: Jake, what do you want to be?

J: I want to be a tennis player.

R: Why?

J: Because I like tennis.

R: That's nice.

J: How about you?

What do you want to be, Rebecca?

R: I want to be an actor.

J: Why?

R: Because I like movies.

I like Emma Watson.

I want to be in a movie with her.

J: That's a great dream.

ア レベッカは、テニス選手になりたい。

イ ジェイクは、ミュージシャンになりたい。

ウ ジェイクは、ダンサーになりたい。

エ レベッカは、俳優になりたい。

【正答】 エ

◆課題の見られた問題

【問題例】英語 中学校2年 8 (2) ②

社会的な話題に関するまとまりのある英語を読んで、話の要点を読み取ること

正答率 39.4%

8 次の英文は ALT の先生が、授業で読むために持ってきた新聞記事です。その記事を読み、あとの問いに答えなさい。

Jane is 10 years old. She lives in London, the U.K. She is very sick and she can't go to school. She must stay at home for a long time.

One day, a special robot came to her school and now it sits in her place at school. The robot plays a very important role for her. It has a light on its head. The light turns on and off when Jane wants to say something. Her teacher and friends can talk to her, and laugh with her during class through the robot. She is at home, but she can be a part of the class.

There are other similar robots in the world. Thanks to robots like this, when a child can't go to school, he or she does not feel alone. They can feel that they are in the classroom.



(2) この記事を読んだ後、ALT の先生が2つ質問をしました。その質問に対する答えとして最も適切なものを、ア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。

② ALT の質問 その2

Why are these robots important for students like Jane?

ア The students can be good at science.

イ The students can play with the robot.

ウ The students can be sad.

エ The students can join the class.

【正答】 エ

【誤答類型】 ア (9.7%)、 イ (36.1%)、 ウ (13.7%)

〔参考〕平成31年全国学力・学習状況調査 英語 中学校3年 7

まとまりのある文章を読んで、説明文の大切な部分を読み取ること 正答率 33.5%

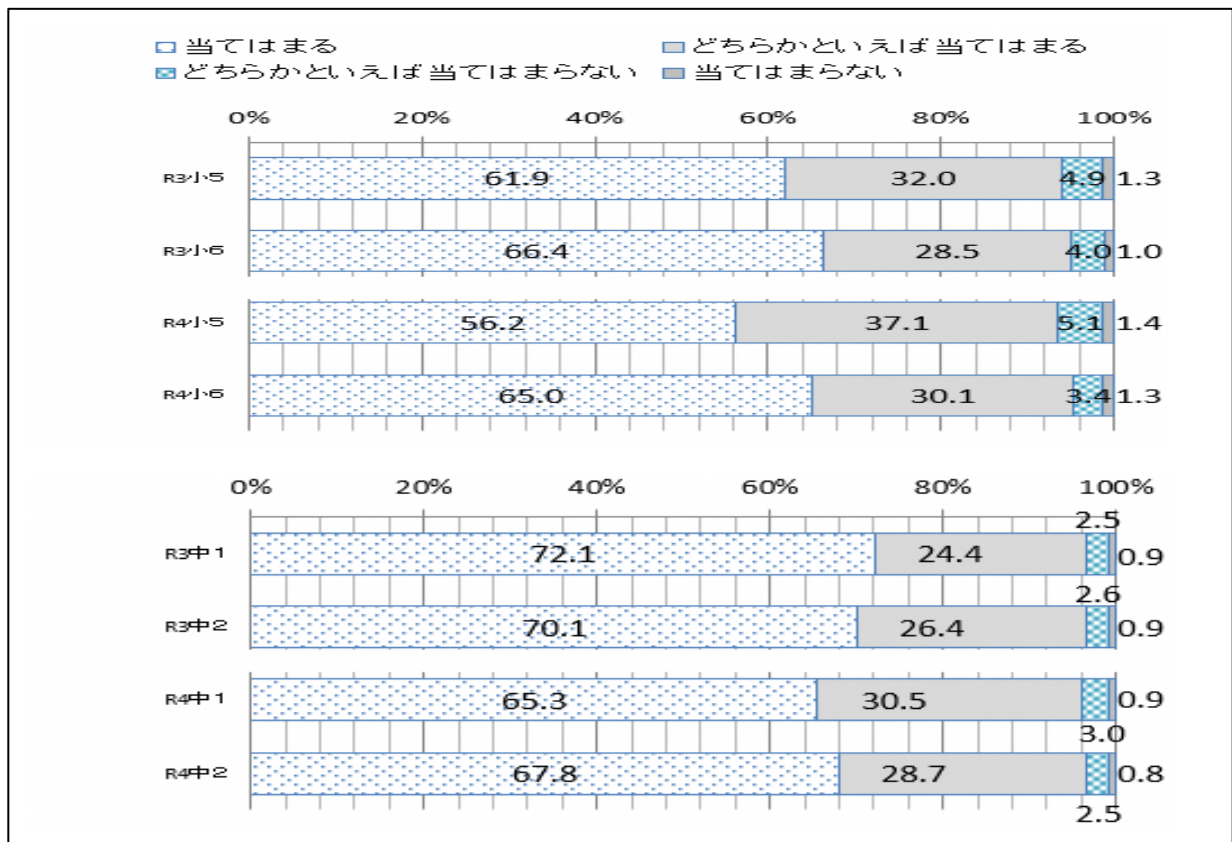
3 児童生徒質問紙調査の結果 (○：成果 △：一部成果 ●：課題)

『主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善』

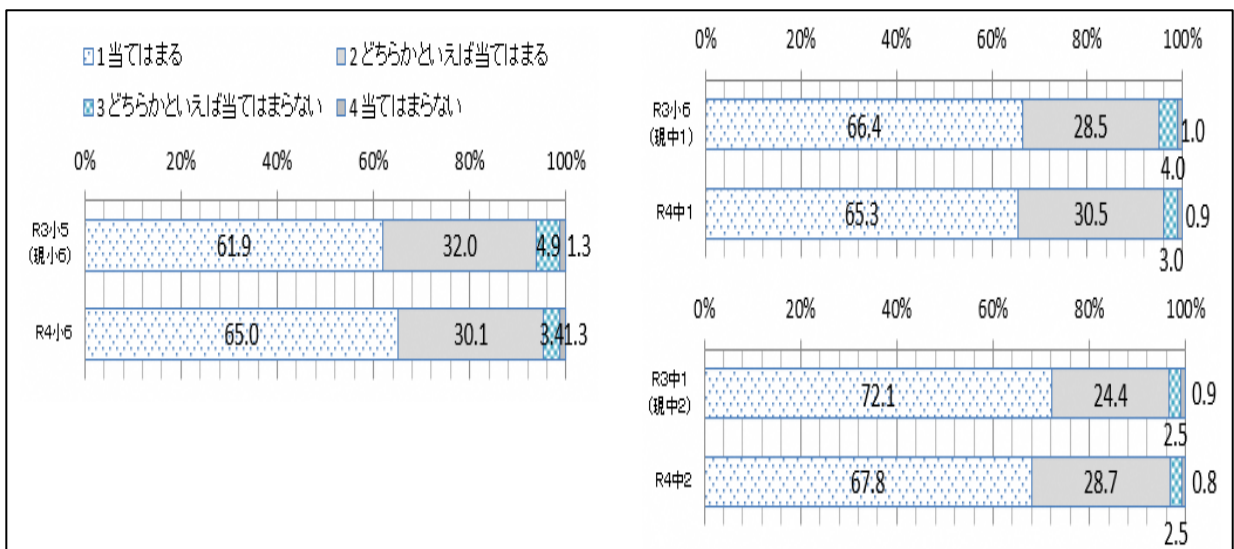
【質問1】授業の中で、授業の目標（めあて、ねらい）が示されていると思いますか。

- 「当てはまる」と回答した割合を、学年ごとに昨年度と比較すると、全ての学年で減少している。
- △ 「当てはまる」と回答した割合を、同一の児童生徒集団で比較すると、小学6年生では増加しているが、中学1・2年生では減少している。

【令和3年度調査との比較】



【同一の児童生徒集団で比較】

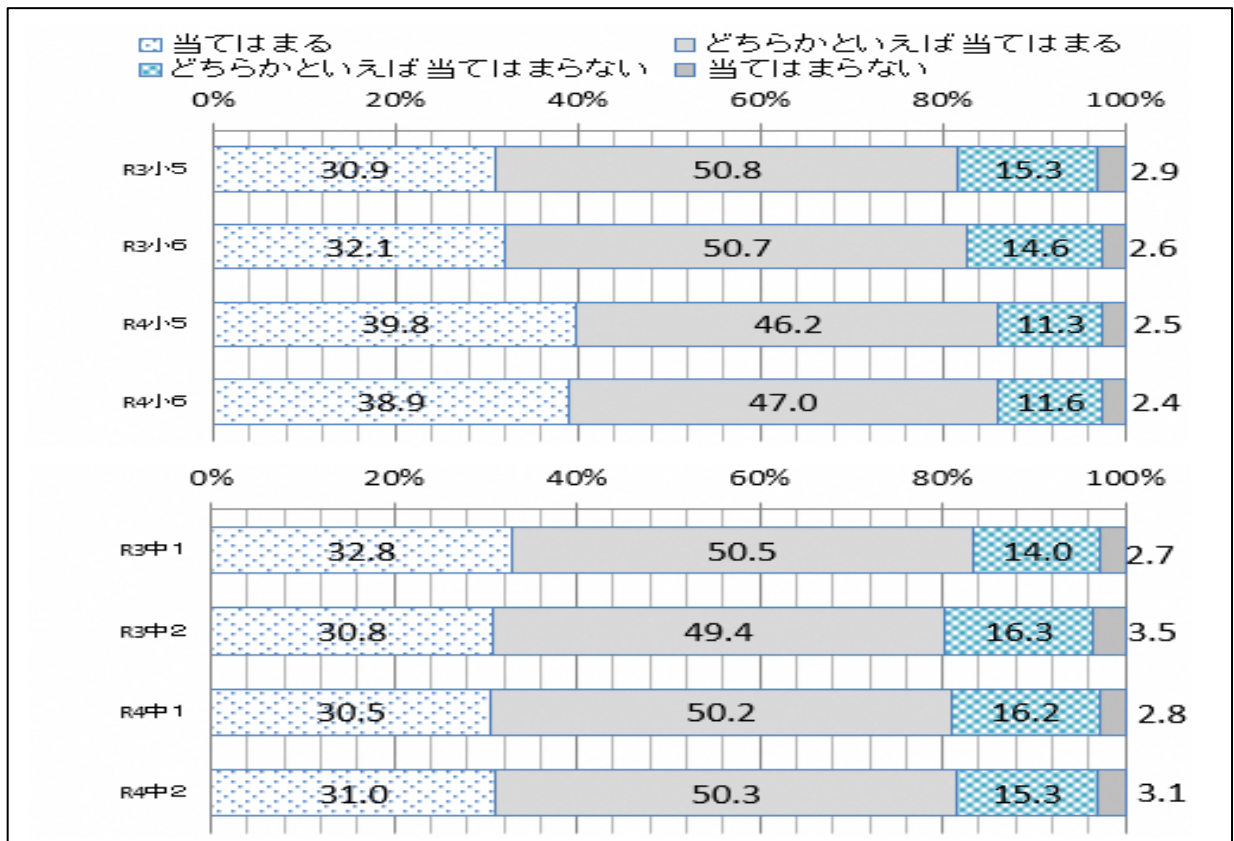




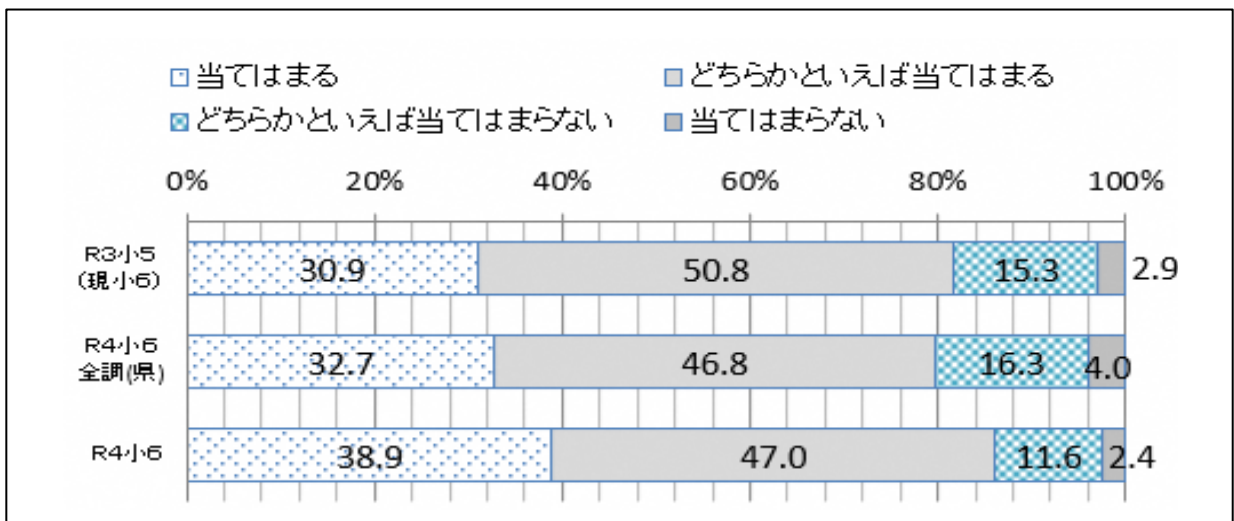
【質問2】学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し（振り返り）、次の学習につなげることができていると思う。

- △ 「当てはまる」と回答した割合は、昨年度と比べると、小学校では増加しているが、中学校では大きな変化はない。
- 肯定的な回答の割合を、同一の児童集団で比較すると、増加している。

【令和3年度調査との比較】



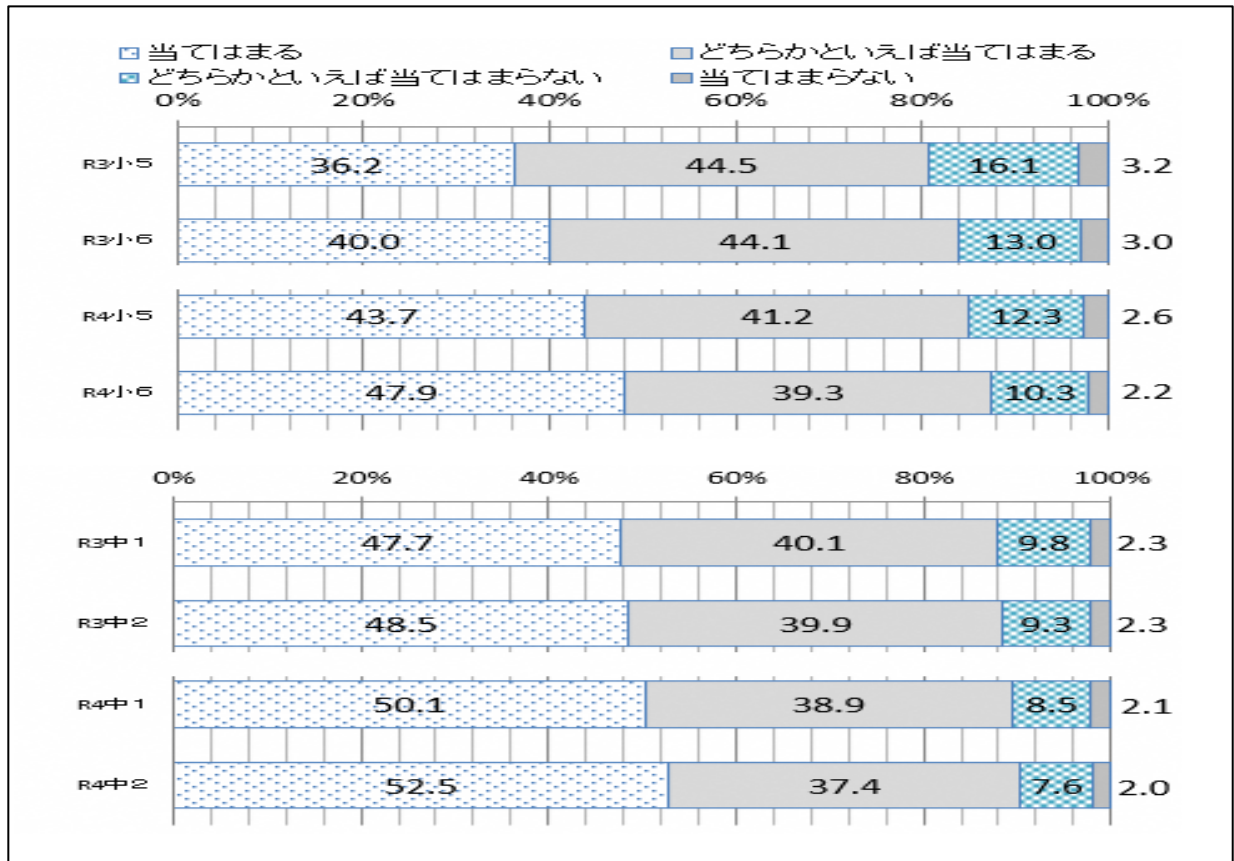
【同一の児童集団で比較】



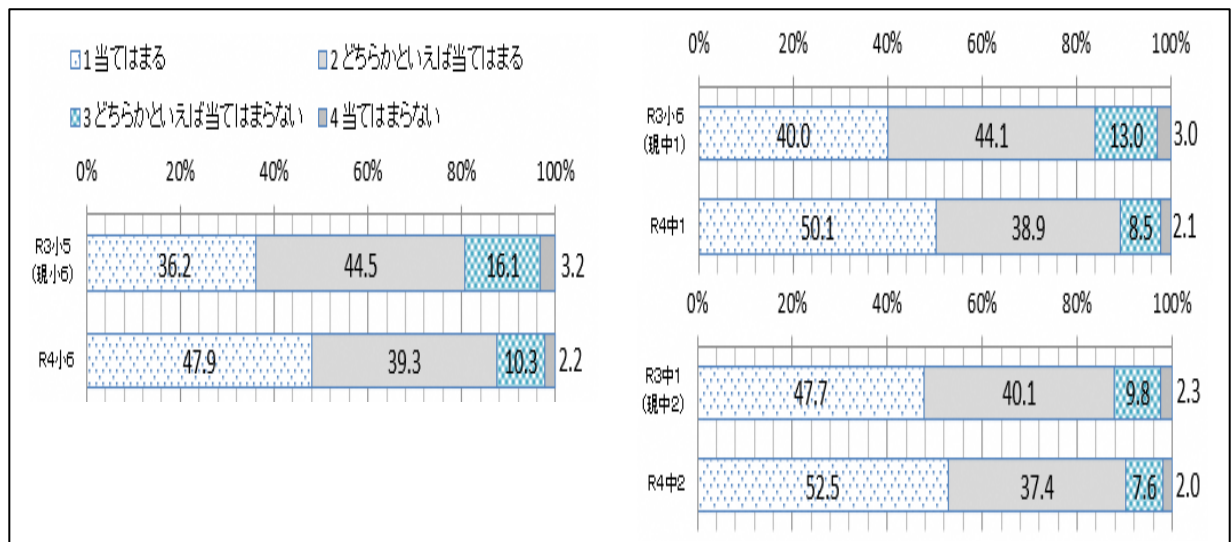
【質問6】学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う。

- 肯定的な回答の割合を、学年ごとに昨年度と比較すると、全ての学年で増加している。
- 肯定的な回答の割合を、同一の児童生徒集団で比較すると、全ての学年で増加している。

【令和3年度調査との比較】



【同一の児童生徒集団で比較】

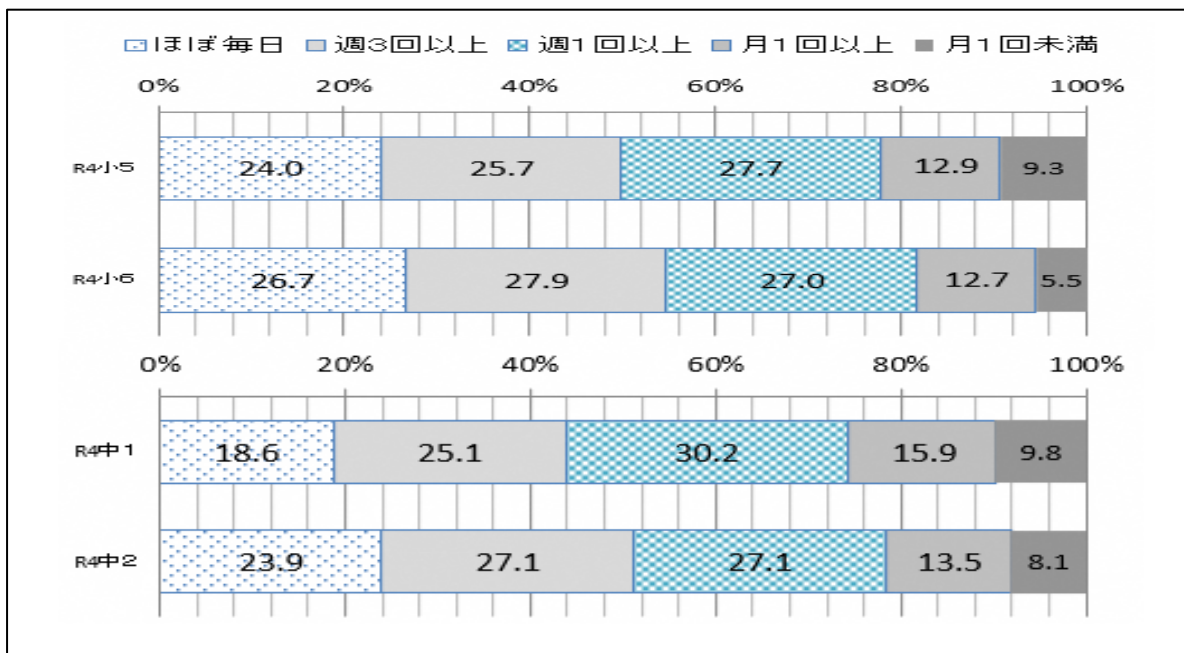


## 【ICT活用】

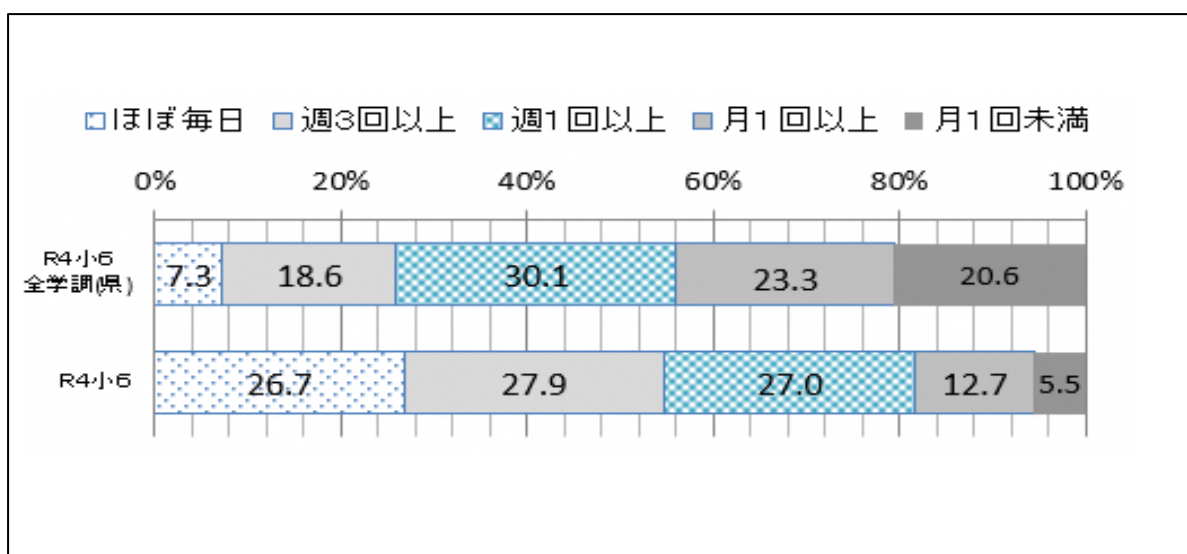
【質問13】あなたは学校で、コンピュータなどのICT機器を、学級の友達と意見を交換する場面で、どの程度使用していますか。

- 「週1回以上」と回答した割合は、全ての学年で70%を上回っている。
- 「ほぼ毎日」と回答した割合を、同一の児童集団で比較すると、大幅に増加している。

## 【今年度調査の結果】



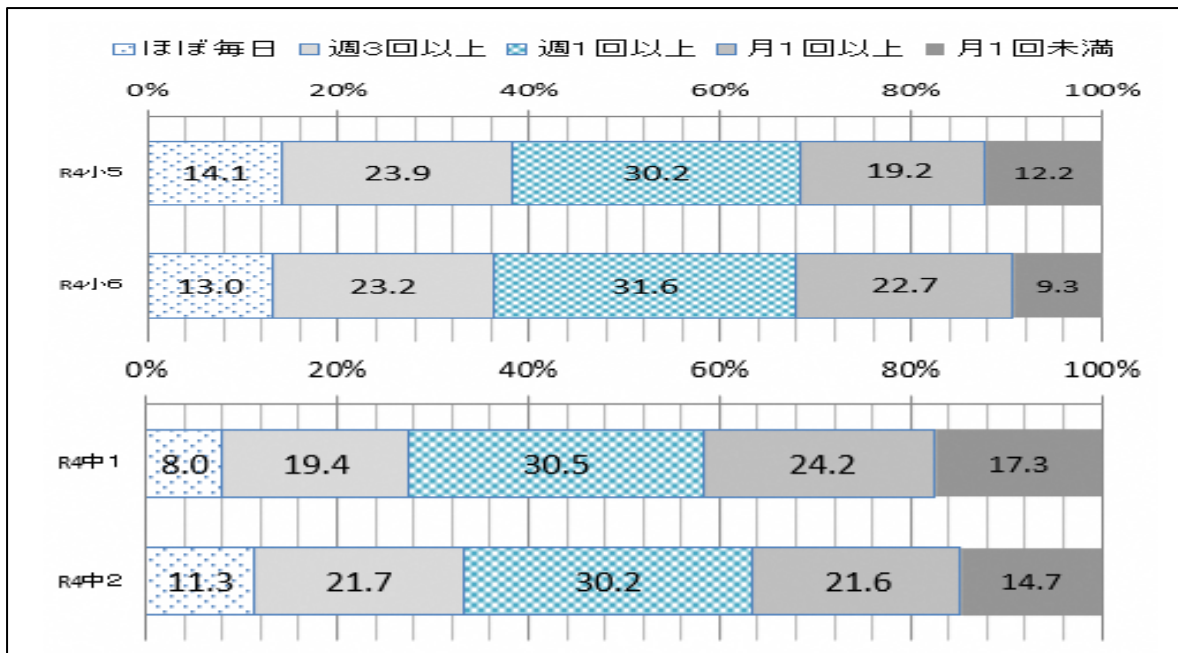
## 【同一の児童集団で比較】(全国学力・学習状況調査との比較)



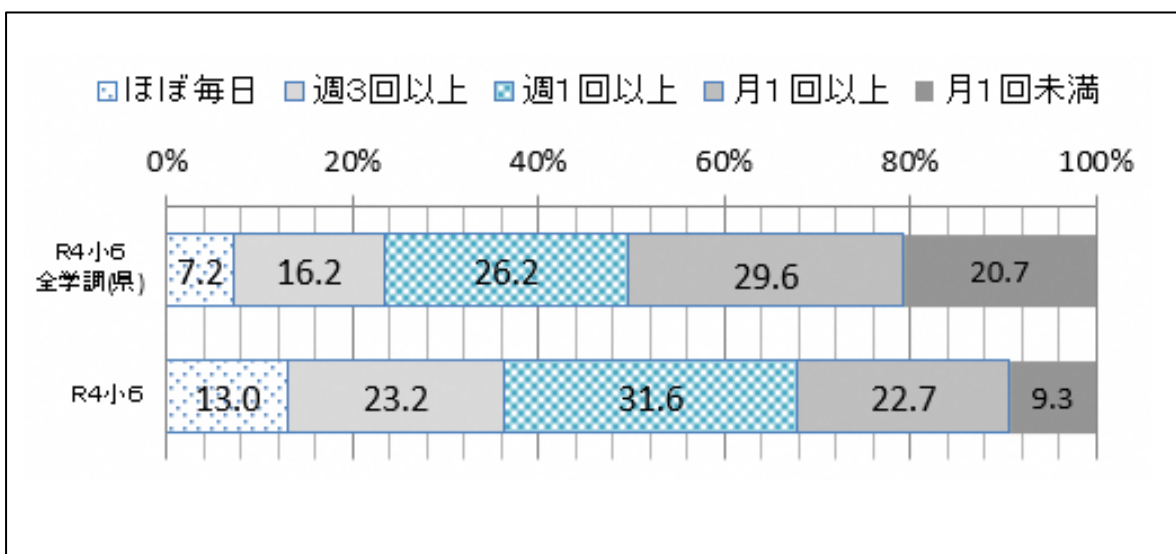
【質問14】あなたは学校で、コンピュータなどのICT機器を、自分の考えをまとめ、発表する場面で、どの程度使用していますか

- 「週1回以上」と回答した割合は、全ての学年で50%を上回っている。
- 「ほぼ毎日」と回答した割合を、同一の児童集団で比較すると、増加している。

【今年度調査の結果】



【同一の児童集団で比較】(全国学力・学習状況調査との比較)

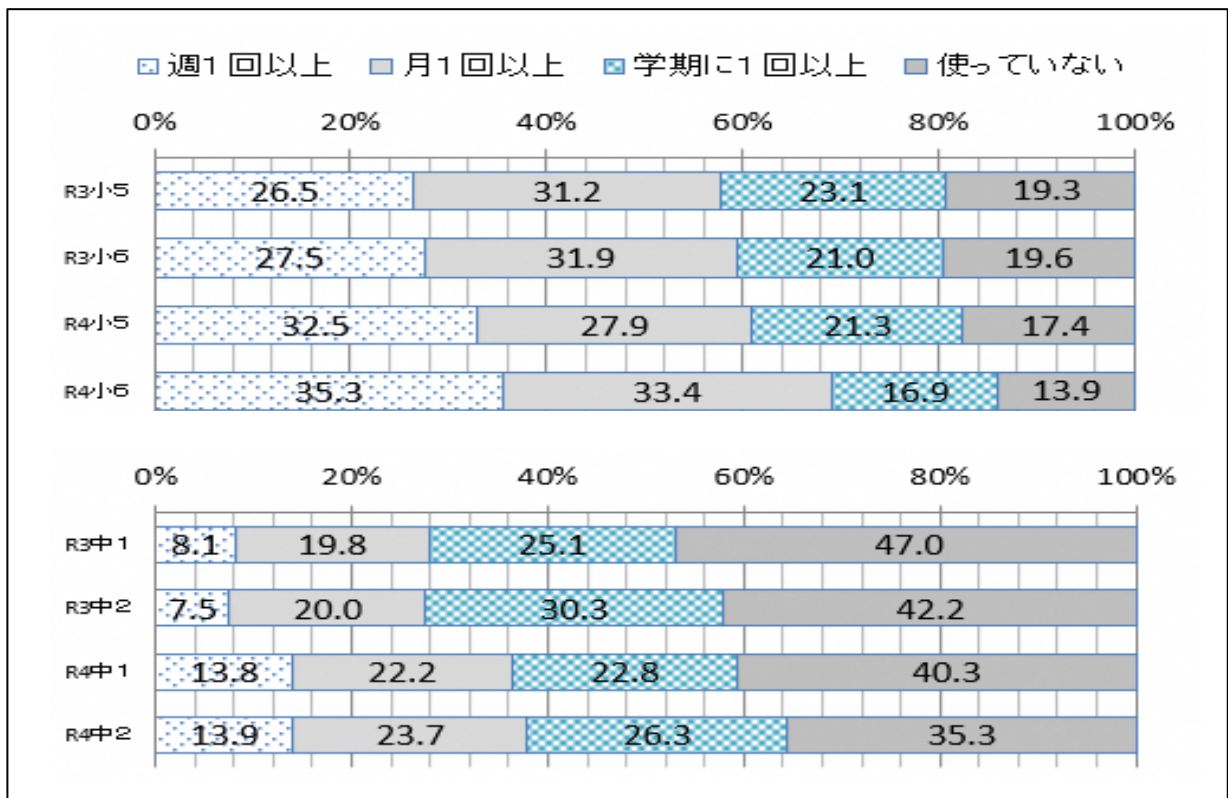


## 【学習支援プログラムの活用】

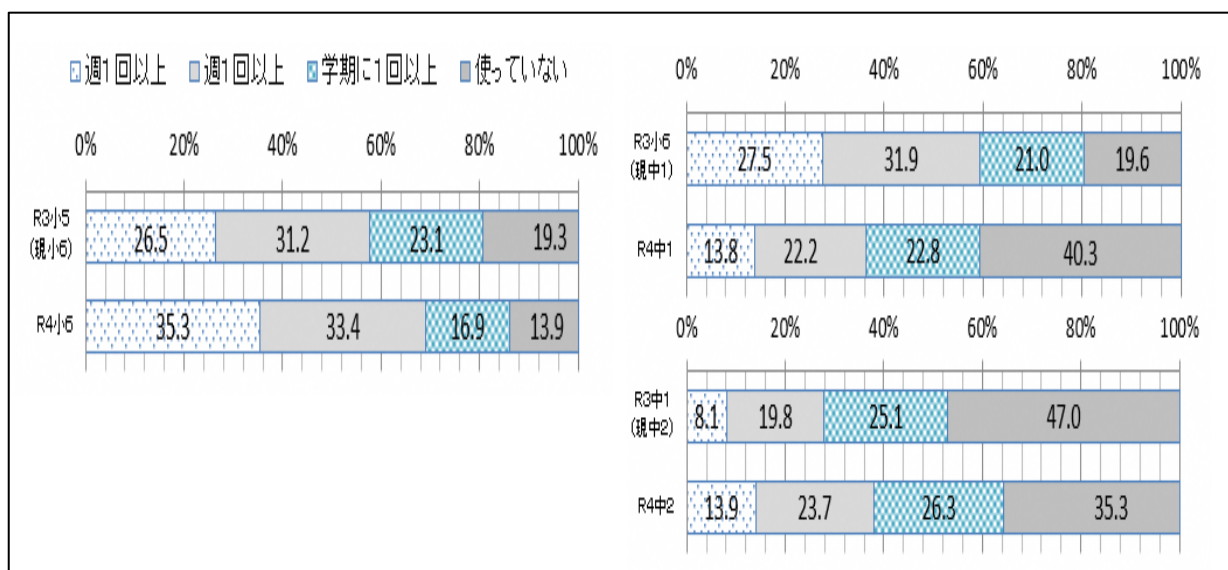
【質問15】やまぐちっ子学習プリントなどのやまぐち学習支援プログラムを、どの程度使用していますか。

- 「週1回以上」と回答した割合は、学年ごとに昨年度と比較すると、全ての学年で増加している。
- △ 同一の児童生徒集団で比較したとき、小学校から中学校への変わり目で肯定的な回答の割合が大きく減少している。

## 【今年度調査の結果】



## 【同一の児童生徒集団で比較】

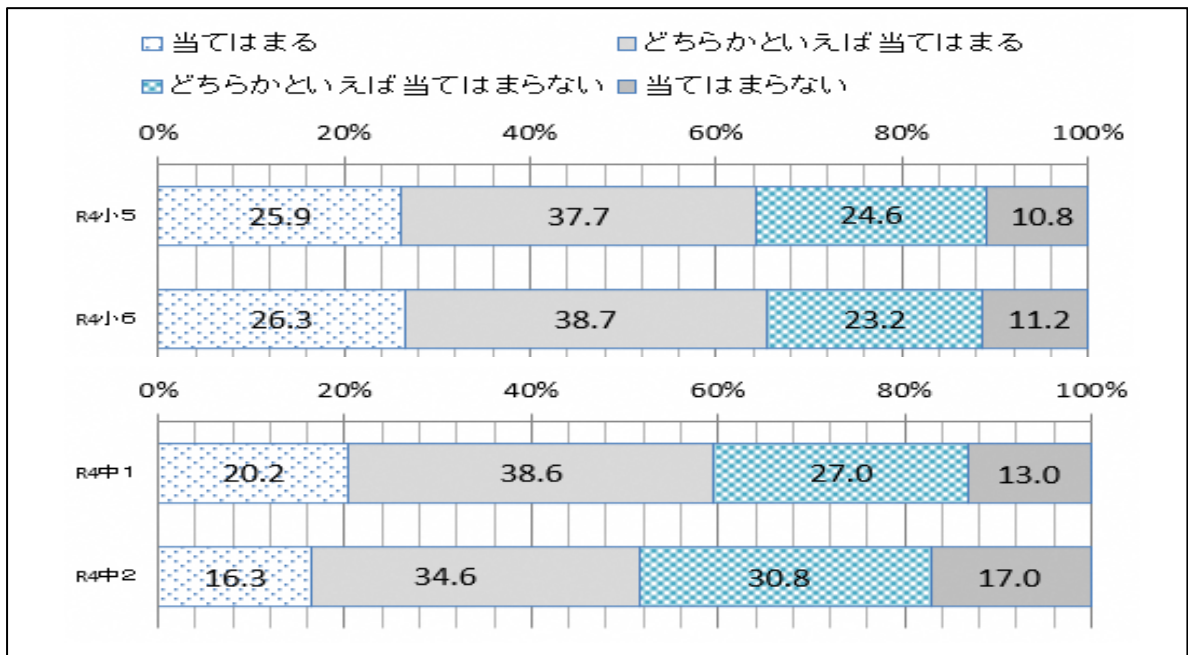


【家庭学習等の習慣】

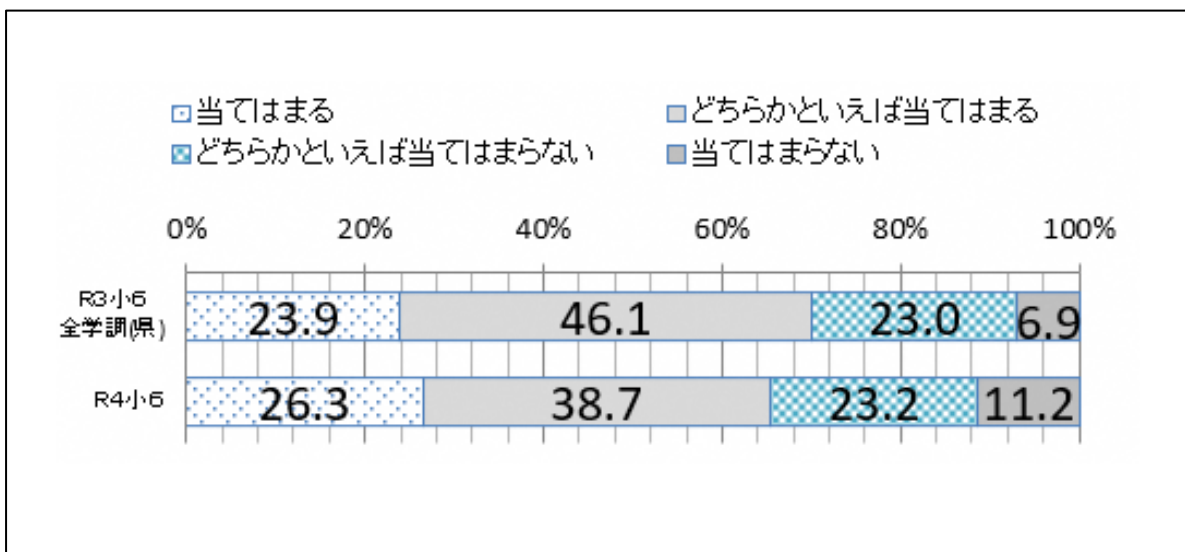
【質問17】家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。(学校の授業の予習や復習を含みます。)

○ 肯定的な回答をした割合は、全ての学年で50%を上回っている。  
 △ 同一の児童集団で比較すると、「当てはまる」と回答した割合は増加しているが、「当てはまらない」と回答した割合も増加している。

【今年度調査の結果】



【同一の児童集団で比較】(全国学力・学習状況調査との比較)

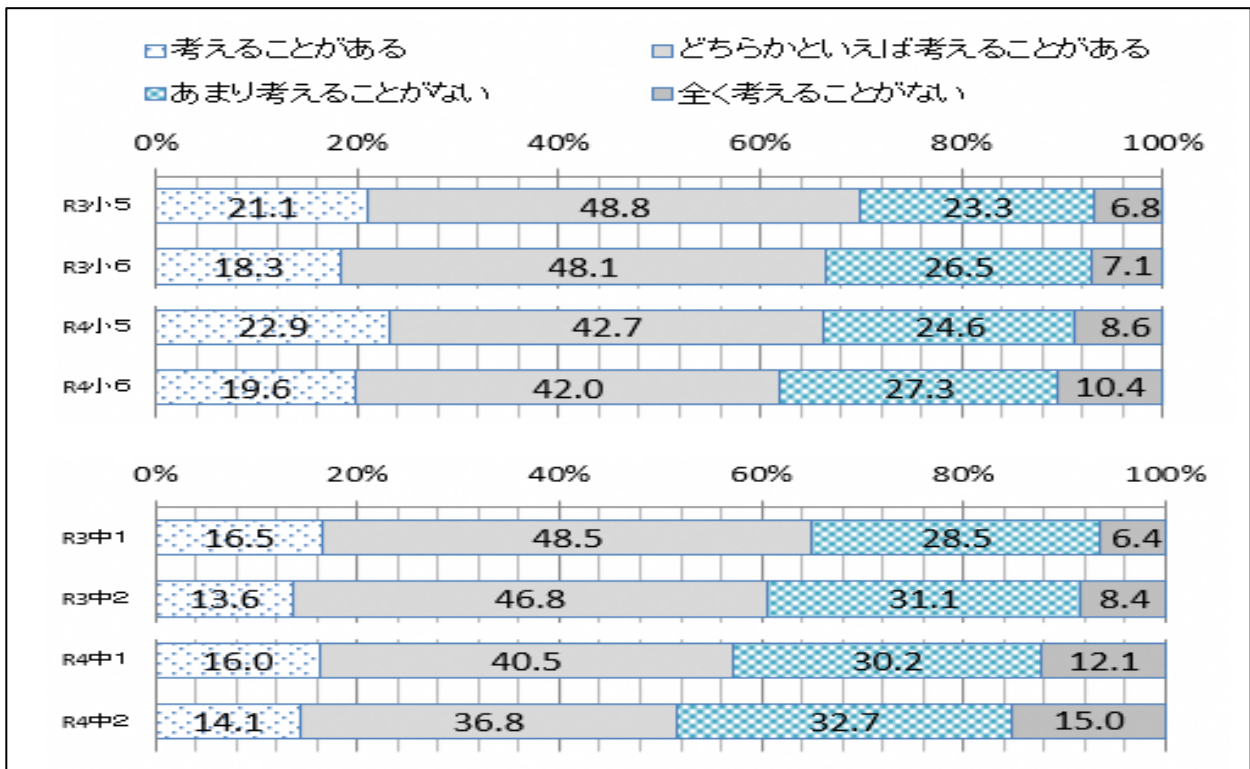


【社会に開かれた教育課程の実現】

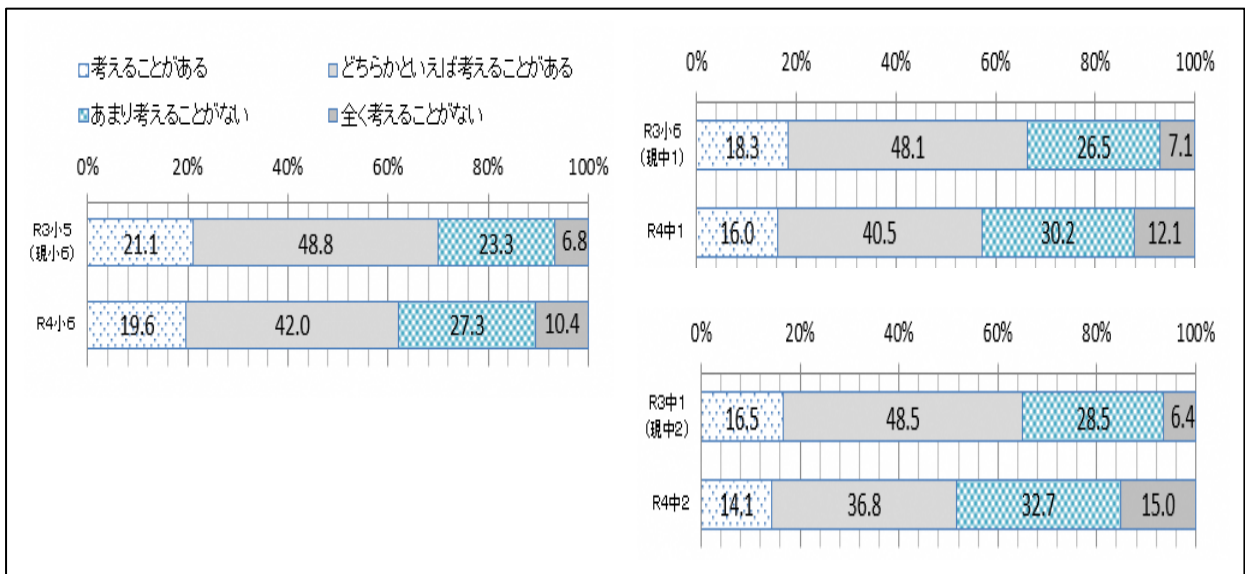
【質問19】 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。

- 肯定的な回答の割合を、学年ごとに昨年度と比較すると、全ての学年で減少している。
- 肯定的な回答の割合を、同一の児童生徒集団で比較しても、全ての学年で減少している。

【令和3年度調査との比較】



【同一の児童生徒集団で比較】



【質問2 1】 地域の人々と話し合う場（熟議）に参加して、発言したことがありますか。

- 肯定的な回答をした割合は、小学校では 20%程度、中学校では 20%を下回っている。
- 「当てはまらない」と回答した割合が全ての学年で 50%を上回っており、多くの児童生徒が熟議に参加していないと予想できる。

【今年度調査の結果】

